

じんけん
人権
～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.534 「誰もが輝く未来を目指して」

11 月は「益城町男女共同参画推進月間」です。

この月間は、性別にかかわらず誰もが生き生きと暮らせる社会を目指し、男女共同参画への理解と関心を深めることを目的としています。

令和4年度に町民を対象に実施した「益城町男女共同参画に関するアンケート」では、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に同感する人が16.8%に上り、根強い性別役割分担意識が残っている現状がうかがえます。

また、全体の24.8%が、性別による負担感や生きづらさを「感じたことがある」と回答。その理由(複数回答)で最も多かったのは、女性が「仕事と家事・育児・介護の両立による負担」(61.5%)、男性が「『男だから、女だから』などと言われること」(52.0%)でした。

男女共同参画社会とは、性別を問わず、誰もがあらゆる分野で自分の意思で自由に活動できる社会のことです。その実現には、私たち一人一人の意識改革はもちろん、社会全体で支え合う土壌を育んでいくことが欠かせません。

町では、こうした社会の実現に向けた取り組みの一つとして「ましき女性みらい塾」を開講しています。この塾は、町の審議会などに参画し、積極的に発言・行動できる女性リーダーを育成するものです。さらに、今回の月間に合わせ、その塾の修了生が企画するイベントや、男女共同参画への理解を一層深めるための記念講演会も開催されます。

誰もが自分らしく輝ける社会は、一人一人の行動から生まれます。この月間の取り組みがその行動のきっかけとなることを願っています。

人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

●いじめについて

益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770

●さまざまな人権問題

益城町福祉課人権対策係 ☎ 289-1400

同和教育、障がい者・女性・子どもの人権問題、人権に関する法律相談など、各種人権に関する相談窓口は、町ホームページ「人権についての電話による相談窓口」をご確認ください。



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

安全×安心

◆地域安全ニュース

「ワルモン」に気を付けて！

「くまモン」そっくりの自称詐欺師、「ワルモン」の出没情報が寄せられています！ワルモンは、熊本県警による「電話で『お金』詐欺」対策のための新マスコットキャラクター。ずんぐりとした黒い体に赤いバツテンほっぺが特徴で、好きな食べ物は冷めたイカ（イカ冷まし）いかさま師、嫌いな飲み物は球磨焼酎（球磨ロックマ逮捕）とのことです。聞いてもいないのに最新の詐欺の手法を自慢げにしゃべるワルモン。その言動に注意し、「電話で『お金』詐欺」への対策に役立てましょう！



あの熊本の人気キャラクターにそっくり？ ワルモンは熊本県各地に出没するとのこと

図 御船警察署 消費生活相談室 ☎ 282・11110 ☎ 286・3210

令和7年 町内の
事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	9月中	累計
人身事故	6	45
物損事故	90	709
空き巣	0	2
自販機狙い	0	0
万引き	1	13
オートバイ盗	0	0
自転車盗	1	3
車上狙い	0	2

◆防火と救急

安全に冬を迎えるために

朝晩の冷え込みが増し、暖房器具を使用する機会も多くなってきました。11月は「秋の火災予防運動」が実施されるように、火災が大変増える時期です。冬が到来し寒さが本格化する前に、今のうちにご自宅の安全対策をしつかりと見直しましょう。

■火災予防のチェックポイント

- ・ストーブやコンロなどの周囲に燃えやすいものを置かない。また、使用中は絶対に目を離さない。
- ・電源コードを定期的に点検し、損傷がある場合は交換する。たこ足配線は極力避ける。
- ・住宅用火災警報器の点検も忘れずに行う。設置から10年経過が交換の目安。
- ・秋の火災予防運動を通じて、家族間で火災予防についての意識共有を図り、日常的に話し合っつけかけとする。

図 益城西原消防署 ☎ 286・2119

令和7年
町内の火災等発生状況

発生区分	9月中	累計
建物	0	6
車両	1	2
林野	0	0
その他	0	1
警戒出動	2	16
救急出動	134	1,392
救助出動	2	8

益城の 文芸

短歌

白と黒のお揃ひの服の母と子は住きこと
ありさう弾む後ろ姿 安永 守住 孝子
稲実る山から里へ群れすずめ寺中の里に
彼岸花咲く 惣領 甲斐 道夫
風を受けざわざわと鳴る竹林ふと静まつ
て私はひとり 木山 赤城 香織
五年越しほどよく実をつけレモンの木朝
露垂れて陽当け輝き 広崎 日野ヒロ子
ちかごろは神社仏閣好きになり大楠のも
と風といこいぬ 惣領 垣野 幸一
彼岸花緋色あざやかただ一本秋を知って
か草むらに立つ 広崎 大原 郁
久し振り夫婦二人で旅に行きゆつくり出
来て心温まる 広崎 辻 恵美子
飯田山の麓に敷かれし絨毯は黄金色の原
風景 惣領 清水 宏
猛暑の日々いつまで続く後少し煮もの「こ
とこと」そろそろかな 赤井 米沢 さわ
曼珠沙華真つ赤に彩り咲きはこる稲穂の
横でほっこり笑顔 馬水 増田 訓子
人去りて古き家のみ秋を受け裏庭の花彼
岸に咲けり 惣領 末武 佑子

俳句 川柳 小春 選

さみしさに急かされ帰る秋入り日 惣領 野々口トミ子
秋雲や夫が逝けりと友の文 木山 鎌田 隆子
飛行機雲その先ずつと鰯雲 惣領 阪口由美子
月あかり夫の遺せし本を抱き 広崎 大原 郁
お隣と仰ぐ秋虹二重なり 木山 本田 龍子
鬼灯や朝餉の卓の真ん中に 古閑 今村 恒心
また値上げ妻の工夫に手を合わせ 惣領 野宮 逸吉
秋めくと言えど熱中症いまだ 西原村 中原 義一
新米も土鍋で踊るルーレルル 福富 井手 悦子
デイサービス色付く稲穂見て通う 小池 滝川美智子
米高値お代わりできぬ三杯目 馬水 増岡 伸禧